

むさし野

No.22

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方
電話 049-225-2466
E-mail : ishi.mkyr@r8.dion.ne.jp

平成17年度総会での澤登先生の講演によせて

江戸時代の富士信仰について

小林 薫

6月19日の総会時に行われた澤登先生の講演(写真右)を聞き、私なりにまとめてみました。

富士講は、江戸の新興宗教である。富士山信仰のもとに組織された信徒集団で、富士登山や寄進などの活動を行ってきた。行者の食行身録がその発展を図って以来、関東一円の民衆に信仰が広まり、六代目行者、食行身録が富士山頂で入定自殺。この事が評判になり、江戸を中心に一気に広まっていった。



身禄の偉大さは、富士講の呪術的性格を廃し、信仰を民衆の主体的な生き方への問い掛けで高めて、わかりやすく日常道徳の真摯な実践を説き、より普遍的な天下の民の救済の観念を体系づけたことにある。なかでも「三一日の御巻」では、女性蔑視や抑圧の政治に対して厳しく反対し、男女は「同じ人間なり」。人間は人をうらんだり、見栄を張ったりせず、いっしょうけんめい頑張れば身分も生活も向上し、来世においても身分の境遇ができること教える。身分と貧困に苦しむ民衆に明日と来世を説いて生きがいを持つように教えたのである。

身禄の思想は享保の飢饉や一揆を背景に急速に信者を増やしていった。幕府は、家々の門前で祭文を唱え、護符を出しながら、いたずらに民衆の不安をあおるとして、富士講に対して禁止令を出した。この禁止令に背いた者を「吟味の上で召し捕らえる」としている。

この当時の世相が、江戸庶民にとってはヒーローの出現を待つほかに手だてがなかったのかもしれない。やはり苦しい時の神頼みではないが、身禄の存在が江戸の庶民に受け入れられたのだと思う。そして、自らの生をかけて富士山へと心を動かし、参詣したのではないかと……。

民衆の心を捉えた宗教も、やがて慶応四年の神仏分離運動が幕府禁令以上に深刻な打撃を与え、大きく転換を余儀なくされていったことを申し上げて終わりとします。

近くに存在した富士講道標 内田吉久

△ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △



浦和区常盤一ノ四ノ五の石田表具店、南の慈恵稲荷神社の正面向かって右側の瑞垣の手前に、写真の様な二段の基壇の上に墓石様の庚申塔が建っている。正面の碑面には太く大きく、庚申塔の三文字の上に富士山の山型が刻まれている。一見庚申塔に見えるが、右側を見ると、富士山・大山・引又と縦三行に刻まれ、大山の下に「道」とある。これを見れば、富士山・大山・引又への道標だと判る。一石二鳥の道標だ。建立者・建立月日が無いの

が残念である。本来は、同神社の中山道からの参道入口付近に建てられて旅人の道案内を果たしていた。道路事情の変化で現在地に移った。

大山の次の「引又」は、角川地名大辞典によると、江戸初期から存在して明治七年の町村合併の時隣村と合併して、志木宿とよばれた。道標の大きさは、下部の基壇二段の地上部の高さは、約五十四センチである。上部の塔身は約七十五センチ程である。さいたま市緑区「武蔵野線・東浦和駅下車徒歩約八分」の清泰寺には三百五十一基の庚申塔と、多くの歴史文化財が納められている。

(追記) 鳩ヶ谷市に居た富士講の大先達 小谷三志の資料紹介/鳩ヶ谷市史通史編第六章 宗教・文化/日本常民文化研究所調査報告第四集 富士講と富士塚/東京・埼玉・千葉・神奈川1976 神奈川大学日本常民文化研究所編/ほとがや三志様伝記 岡田博

毎日新聞に毎週日曜日「時代の風」と言う評論記事があって、私の楽しみの一つです。

2005年7月10日は、法政大学院特任教授、青木保先生担当で「教養人の育成——まずは語学と日本文化」でした。そこではイスタンブールでの体験として中東の文化人・知識人の教養の基礎に神の言葉アラビア語、官僚の言葉ペルシャ語、軍人の言葉トルコ語があり、その上で欧州諸語が望まれ、実際トルコ人学者の多くが英独仏語を巧みに操っている事に圧倒されたと言う。

昨年私はエジプトを旅する機会があり、ギザのピラミッドを見た後、地中海に面したアレキサンドリアに行き、スエズ運河を経由してシナイ半島を巡りました。出来事はアレキサンドリア駅で起こりました。珍しいので普通列車を見ていたとき、「コンニチハ」と声を掛けられま見送ると言う若いエジプトリア大学日本語科卒で日本語を話すチャンスと言う事で私達の出発迄、この地の歴史や様子等を楽しそうに話してくれました。

アレキサンドリア

赤間鉄雄

帰国後、私は横浜在住で横浜市大の留学生を支援しているY女史と共に彼女との文通をするのですが、彼女に日本留学希望があり、Y女史は横浜市大の、私は法政の留学案内(和文・英文)を送り、実現の折には支援方を伝えたのでした。しかし、後日費用が多額で“断念”と伝えてきました。この事でアジア地域からの留学に比べ中近東・アフリカからのそれはまだ壁が厚いことを知りました。

さて先日の便りで彼女はギリシャ語能力試験を受けたとあって、アラビア語、英語、日本語を話すマルチリンガルであることが判りました。この時青木先生が言う「教養の基礎としての言葉」をクリアしているこうした若い知識人の希望に応える体制の充実が今求められていると実感したのでした。

勉強会の今後のあり方について

総会のスケジュールも終わって、茶話会になったとき、会長が「今後の勉強会について会員各自のフリートーキングはどうか」と発言、その席上で次のような事が話題になりました。

まず、従来どおりの会員各自の体験・知識を発表する事は継続し、未発表の会員になるべく意向を聴いて勧めるようにする。その際、内容の範囲を広げて趣味・地域活動・生活等に参考となるようなことなら何でもよい事にし、会員がなるべく一回は発表するよう心がける事とする。

次いで、本日のように外部から講師を招いての講演会もする。講師の範疇も広げてバラエティーに富んだものにするため、演芸人(例：落語)なども範疇に入れる。

最後は、時事問題を取り上げて会員各自のフリートーキングはどうかということが話題になった。例えば、今話題の「靖国神社の問題」で、一応政治問題は捨象して、どういうことが問題になっているか、という事を冷静に、かつ、客観的に(と言っても難しい)取り上げて考えてみる事も、我々の年齢相応の一般教養として必要ではないかという事からで、出席者全員が実施の可否を考えようという事で散会になった。(安藤記)

総会出欠の葉書より会員の声

6月19日を楽しみにしております。宜しく願います。講演について。今回の講師澤登先生は通教の史学科に学ぶ者にとってはおなじみの先生です。通教スクーリングを必ず担当されているゆえ、その講義から先生の通教への思い、情熱が十分に伝わってきました。その為でしょう、澤登先生のファンが多かった事を記憶しています。私は日本近世史演習を受けました。試験は厳しかったですが…。「会報むさし野」鳥海さんの思いが充分込められていて、とても好ましいものになっていますね。(赤間鉄雄)

ゴールデン・ウィーク期間中、妻と二人で東京の根津神社のツツジ見学と東京近代国立美術館にゴッホ展を見に行きました。どちらも混みましたが、どちらも良かったですね。美術館のレストランはとても雰囲気良く皇居の緑が美しく眺める事が出来ました。(石井 満)

4/23(飯田橋本校) 文学部地理学総会に評議員として出席しました。(宇佐美善夫)

ご無沙汰しております。お元気ですか？私は、先週原因不明(レントゲン、MR Z検査実施)の首から背中に掛けて激痛に悩まされました。とりあえず、薬と湿布でどうにか治りました。6月の総会、会えるのを楽しみにしています。大分陽気も暖かくなりビールが美味しい季節です。熱い餃子を食べながらのビールは、良く20歳に池袋で飲みました。会報毎回有難うございます。(小林 薫)

幕末の歴史小説に取り組み中です。(尾辻紀子)

野外例会の企画がある場合、日本のシルクロードを案内いたします。幕末から明治にかけて日本の生糸が輸出に沸いた時代に「浜街道」と呼ばれた旧道です。(飯田桂子)

大分、ご無沙汰いたしました。久しぶりに出席させていただきます。宜しく願います。(青木美枝)

定期総会のご盛況をご祈念いたします。(葛西利武)

いつもお世話になります。御盛会をご祈念申し上げます。(鮫島隆一)

未だに現役で働いておりますので会に出席できずにいます。この春から越生町の厚生年金休暇村にある「こうねん大学」で勉強の真似事みたいな生活を始めました。年に20回の講義と「指圧クラブ」に新しい仲間と共に楽しんでいます。(渡部佐智雄)

先に約束がありまして大変残念です。講演のレジメ等もしありましたら後ほど頂けたら嬉しいです。勝手に申し上げ失礼致しました。(桃木良子)

矢田様のご紹介で入会する事になりました。宜しく願います。講演会楽しみにしてお

第10回 会員による勉強会 『靖国問題』を考える

戦後60年を迎えた今年、小泉首相の靖国参拝問題などをめぐって、内外で様々な議論がなされています。時事問題として今回『靖国問題』を考えるのテーマの下に自由な論議を行うことになりました。議論沸騰を避けるため、討論形式は避け自分の意見を述べたい方はなるべく事前にご連絡ください。会としては結論は出さなかつもりです。

会場：さいたま市民会館うらわ 606号室 会費1000円

日時：2005年10月22日(土) 14:00~17:00(休憩含む)

ります。先生は日本文学か西洋文学どちらでしょうか？(横井時弘)

法政むさし野会は、活動や財政面で安定的発展と言う実感です。最近は人間関係も人間の筋肉のように瞬発力はあるが長続きしない速筋型と、最大限の力はたいしたことは無いが持続力のある遅筋型に分かれるように感じています。私は「むさし野会」の付き合いは遅筋型を望んでいます。(大川成一)

2005年度法政むさし野会定期総会報告

会員の親睦のための新しい会として出発して1年。05年度定期総会が、6月19日(日)午後1時半から5時まで「さいたま市民会館うらわ」において、会員15名参加のもと矢田幹事の司会により開催されました。

第1部・定期総会小林会計監査の開会のことば、石井会長のあいさつの後、石井会長が議長となり議事に入り、第1号議案「04年度活動報告について」筑井副会長、第2号議案「04年度収支決算及び監査報告について」大川幹事・鹿野会計監査、第3号議案「05年度活動方針について」筑井副会長、第4号議案「05年度予算について」大川幹事からそれぞれ報告・説明。質疑応答を経て予定された4議案は全て承認され、内田顧問の閉会のことばがあり、議事を終了しました。

第2部・講演会は法政大学文学部教授・澤登寛聡先生をお招きして『江戸時代の富士信仰』と題して1時間半お話をお聴きしました。第3部・茶話会は会場の都合で約30分の短い時間となりましたが、会の運営や研究発表会のあり方等について意見交換が行われました。

(訂正 会報『むさし野21号』の第3号議案、2005年度 活動方針(案)に於いて。支出の部勉強会費60,0000円は(誤)。6,000円が(正)です。合計は変わりません)

事務局から

2005(平成17)年度の会費お振込みのご案内

同封の振込用紙にて、新年度会費(2000円)のお振込みをお願いいたします。

会員移動(05年4~6月)

- ・入会(3名) 黒木 良一さん(茨城県つくば市 法・法1998年卒)
榊原 洋子さん(埼玉県北本市 文・日文2004年卒)
横井 時弘さん(東京都中央区 法・法 1989年卒)
- ・退会(2名) 相崎 肇さん、川路 滋さん

◆あとかぎ◆

雲の峰が流れるような雲に変わりました。それにしても暑い夏でした。皆様、お元気にお過ごしでしょうか。9月11日は衆議院議員選挙があります。この会報がお手元に届く頃には結果が出ているでしょう。日本国民の民度はどうなるのでしょうか。投票する人が増えるのを祈るばかりです。